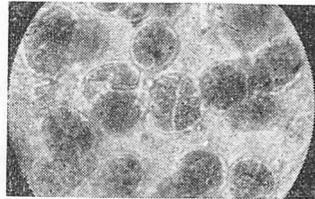


が押し出した果胞子 (B) でも、更に (C) に於ても大半は小さいながらもスライド上に落ちて附着し、(A) よりも分裂細胞の数が少ないとはいえ、外見上健全に發育を始めることは圖で示す通りである。



C 群果胞子の發芽
ca ×260

囊果内の一見未熟かと思われるような果胞子でさえこのように發育能力を有すると云う事實は他の紅藻に於ても普遍的なものか否かは現在研究中である。しかし少なくともオゴノリに於て發芽能力がこの様に旺盛であることは紅藻の „タネ付け” に關して一つの基礎資料となると思う。

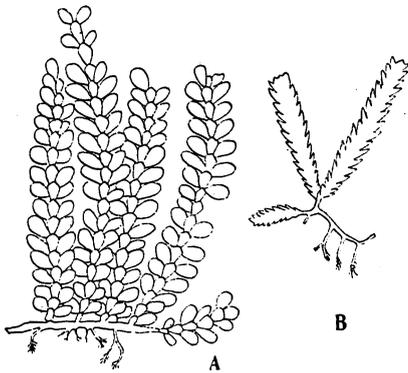
(九大農學部水産學教室瀬川研究室)

伊豫の海藻5種を報告する

八木 繁一

1. *Caulerpa scalpelliformis* (R. BROWN) AG. var. *denticulata* (DECSN.) WEBER van BOS. クロキヅタ

昭和8年8月故岡村金太郎博士を松山市にお迎えして藻類研究會を開催したことがある。此の時會の終了後私は先生のお供をして宇和島港・土佐柏島・沖ノ島・清水港と藻類の採集をした。其の際宇和島港で樺崎に當時あつた愛媛縣立宇和島水産試験場に立寄つて標本類を觀る機會に恵まれた。其の時、其の標本の中から先生が発見されたのがこのクロキヅタで、先生は日本に於ての第二の産地がわかつたと非常に喜ばれたものである。此の標本の藻は昭和3年8月愛媛縣西宇和郡川ノ石の小島にて潜水作業に依つて8.5~13.5尋の海底から得たものである (之は昭和9年3月發行の日本學術協會に先生が詳しく書かれている)。所が此の僅かな而も貴重な標品も後同試験場が風水害の爲全くなくなつてしまつた。惜しいことをしたと私は度々前記川ノ石の海を採集したが今日まで之を得ることが出来ない。然る所昭和26年1月私



第1圖

- A. *Caulerpa Fergusonii* MURR.
フジノハヅタ $\times 1/3$
- B. *Caulerpa scalpelliformis* (R.
BROWN) AG. var.
denticulata (DECSON.) WEBER
VAN BOS. クロキヅタ $\times 1/3$

はふとした所で同じく昭和3年に採集したクロキヅタの標本を入手して二つとない本縣産の標本として現在大切に保存している。クロキヅタに就ては私が申し上げる迄もなく明治43年9月故岡村博士が隠岐國黒木御所下で發見され大正11年天然記念物の指定を受けたものである。然し、隠岐産の高さ15cmもある大きなものに比べると本縣でとれたものは高さもその半分の7cm内外の小さなものしか見つかつていない。しかもこの第1圖Bのものが本縣産の唯一の標品である。

2. *Caulerpa Fergusonii* MURR. フジノハヅタ

私は昭和26年1月クロキヅタと共に同時に採集されたフジノハヅタの標本も入手出来た。之は本邦に於ける分布も可なり広い様であるが本縣では之だけで未だ他から得た報告がない様に思われる。

3. *Dictyosphaeria cavernosa* (C. AG.) BOERG. キツコウグサ

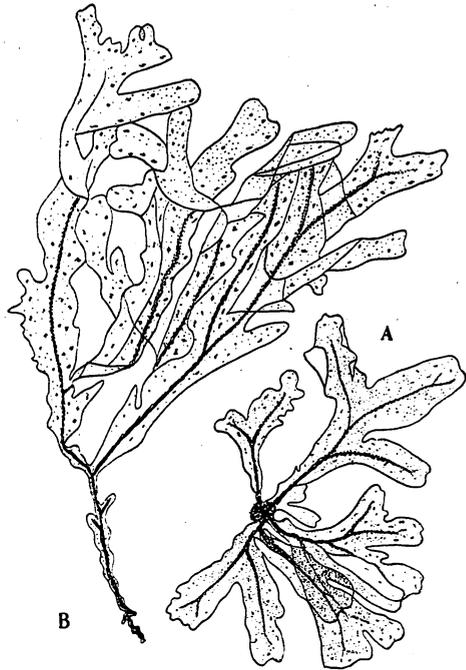
昭和26年4月8日山田幸男先生が南宇和郡武者泊にて之を御採集になられたが之も本縣内にては初めてのこととして記録されて居る。

4. *Dictyopteris divaricata* OKAMURA エゾヤハズ

之は北海道及び東北地方兩海岸に多い元來寒流性の藻である。然るに之が南下して瀬戸内には伊豫灘・齋灘・燧灘に分布して居る。齋灘の鹿島に於ては低潮線附近の磯の日當りの悪い岩壁に多い。其の形態は第2圖の通りである。この藻は寒流に依つて運ばれて來た胞子が瀬戸内のたまたま外圍の適應した所で繁茂するに至つたものと思われる。

5. *Encheuma muricatum*
(GMEL.) WEB. v. BOS.
f. *depauperata* WEB. v.
BOS. キリンサイ

キリンサイは、又リウキ
ウツノマタとも云い南宇和郡
由良には多く産するが伊豫灘
・齋灘には今迄採集されたこ
とがない。然るに燧灘の西方
四坂島と其の對岸周桑郡楠何
村大字河原津の海岸には花崗
岩の磯に少し之を産すること
が知られて居る。この藻は暖
流の影響を受けて沖縄島より
伊豆七島にかけて分布して居
る。此の様な南方性分子は本
縣では多く佐田岬の南方に止
まつて居るが本種は内海奥深
く突入して居る。さて元來内
海産藻の特質としては細いも
の、薄いもの即ち繊細なもの
で且つ柔軟なものが多いにも
不拘本種の如き多肉・軟骨様
の南方性要素があると云うこ
とは著しいことである。



第2圖

Dictyopteris divaricata OKAMURA
エゾヤハズの2個体× $\frac{1}{3}$

(松山市 北高等學校)

ハハキモク (*Sargassum kjellmanianum* YENDO)

の原標本に就いて

山田 幸男

先般米國伊利ノイ州のノルマル大學 (Illinois Normal University) の助教
授フェンショルト女史 (D. E. FENSHOLT) から來信あり、北米オレゴン州等